



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月13日

上場会社名 株式会社ラクス 上場取引所 東
 コード番号 3923 URL https://www.rakus.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 崇則
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略本部長 (氏名) 松嶋 祥文 TEL 03 (5362) 3650
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	6,329	39.2	1,238	41.9	1,242	41.9	814	35.6
30年3月期第3四半期	4,547	26.8	872	23.2	875	24.4	600	23.9

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 815百万円 (35.4%) 30年3月期第3四半期 602百万円 (17.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	17.98	—
30年3月期第3四半期	13.26	—

(注) 1. 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	5,579	4,391	78.7
30年3月期	5,229	3,706	70.9

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 4,391百万円 30年3月期 3,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	5.80	5.80
31年3月期	—	0.00	—		
31年3月期(予想)				4.40	4.40

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 配当予想の修正につきましては、本日公表の「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
 2. 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,708	35.9	1,468	18.3	1,472	18.0	1,013	15.8	22.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 連結業績予想の修正につきましては、本日公表の「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	31年3月期3Q	45,304,000株	30年3月期	45,304,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	296株	30年3月期	256株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	31年3月期3Q	45,303,710株	30年3月期3Q	45,303,820株

(注) 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループがクラウド事業及びIT人材事業を展開する情報通信サービス市場は、企業の旺盛なIT投資姿勢が継続しており、市場の拡大が継続しております。

このような経営環境の中、当社グループは経営方針として「高収益な複数サービスが生み出すキャッシュを成長サービスに集中投下」を掲げ、成長加速を実現するための投資を強化してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,329,715千円（前年同四半期比39.2%増）、営業利益は1,238,080千円（前年同四半期比41.9%増）、経常利益は1,242,468千円（前年同四半期比41.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は814,688千円（前年同四半期比35.6%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①クラウド事業

クラウド事業は、マーケティングの強化に加え、営業人員の増員と既存サービスの競争力強化を目的とした機能改善を持続的に行う等の積極的な成長投資を行いました。以上の結果、売上高は4,848,887千円（前年同四半期比45.4%増）、セグメント利益は1,076,009千円（前年同四半期比38.4%増）となりました。

②IT人材事業

IT人材事業は、企業収益の改善に伴うIT投資の増加や、慢性的なITエンジニア不足を背景に稼働人員数が増加いたしました。以上の結果、売上高は1,480,827千円（前年同四半期比22.1%増）、セグメント利益は162,070千円（前年同四半期比70.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,183,107千円となり、前連結会計年度末に比べて380,602千円増加いたしました。これは主に、売掛金が163,916千円、現金及び預金が145,256千円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は2,396,159千円となり、前連結会計年度末に比べて31,188千円減少いたしました。主な要因は、工具、器具及び備品が76,199千円増加したものの、のれんが122,846千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は5,579,267千円となり、前連結会計年度末に比べ349,413千円増加いたしました。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,062,099千円となり、前連結会計年度末に比べて356,035千円減少いたしました。主な要因は、賞与引当金が125,049千円増加したものの、未払費用が184,092千円、未払法人税等が160,189千円、未払金が155,280千円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は126,098千円となり、前連結会計年度末に比べて21,255千円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債が18,795千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,188,198千円となり、前連結会計年度末に比べ334,780千円減少いたしました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,391,069千円となり、前連結会計年度末に比べ684,194千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が剰余金の配当により131,380千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により814,688千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、クラウド事業、IT人材事業において、見込みを上回る見通しであることから、平成30年10月16日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,719,176	1,864,432
売掛金	965,905	1,129,822
商品	5,057	5,304
仕掛品	680	831
その他	118,031	190,414
貸倒引当金	△6,345	△7,698
流動資産合計	2,802,505	3,183,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	81,872	131,199
工具、器具及び備品(純額)	119,321	195,520
有形固定資産合計	201,193	326,720
無形固定資産		
のれん	1,283,068	1,160,221
顧客関連資産	355,733	300,533
ソフトウェア	21,107	39,470
無形固定資産合計	1,659,909	1,500,225
投資その他の資産		
投資有価証券	40,000	40,000
差入保証金	256,844	284,733
繰延税金資産	268,444	244,386
その他	7,251	5,953
貸倒引当金	△6,295	△5,860
投資その他の資産合計	566,245	569,213
固定資産合計	2,427,347	2,396,159
資産合計	5,229,853	5,579,267

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	237	169
1年内返済予定の長期借入金	10,404	—
未払金	452,913	297,633
未払費用	219,412	35,319
未払法人税等	306,925	146,735
未払消費税等	114,639	118,465
賞与引当金	—	125,049
前受金	255,904	257,606
その他	57,699	81,120
流動負債合計	1,418,135	1,062,099
固定負債		
長期未払費用	28,901	31,361
繰延税金負債	75,942	94,737
固定負債合計	104,843	126,098
負債合計	1,522,978	1,188,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	378,378	378,378
資本剰余金	308,028	308,028
利益剰余金	3,023,218	3,706,526
自己株式	△219	△285
株主資本合計	3,709,405	4,392,647
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△184	664
為替換算調整勘定	△2,345	△2,242
その他の包括利益累計額合計	△2,530	△1,577
純資産合計	3,706,874	4,391,069
負債純資産合計	5,229,853	5,579,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	4,547,658	6,329,715
売上原価	1,639,360	2,140,712
売上総利益	2,908,297	4,189,003
販売費及び一般管理費	2,036,087	2,950,922
営業利益	872,210	1,238,080
営業外収益		
受取利息	21	22
為替差益	—	3,978
助成金収入	4,108	330
その他	0	67
営業外収益合計	4,130	4,398
営業外費用		
支払利息	77	10
為替差損	485	—
営業外費用合計	563	10
経常利益	875,778	1,242,468
特別損失		
固定資産除却損	596	183
特別損失合計	596	183
税金等調整前四半期純利益	875,181	1,242,284
法人税、住民税及び事業税	256,582	385,117
法人税等調整額	17,773	42,478
法人税等合計	274,356	427,595
四半期純利益	600,825	814,688
親会社株主に帰属する四半期純利益	600,825	814,688

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	600,825	814,688
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	847	848
為替換算調整勘定	503	103
その他の包括利益合計	1,350	952
四半期包括利益	602,175	815,640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	602,175	815,640

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(賞与引当金)

前連結会計年度においては、従業員賞与の確定額を未払費用として計上しておりましたが、当第3四半期連結累計期間は支給額が確定していないため、支給見込額を賞与引当金として計上しております。なお、前連結会計年度においては支給確定額183,036千円を未払費用に含めて計上しております。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,334,703	1,212,954	4,547,658	4,547,658
計	3,334,703	1,212,954	4,547,658	4,547,658
セグメント利益	777,217	94,992	872,210	872,210

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,848,887	1,480,827	6,329,715	—	6,329,715
セグメント間の内部売上高又は振替高	65	13,171	13,237	△13,237	—
計	4,848,953	1,493,999	6,342,952	△13,237	6,329,715
セグメント利益	1,076,009	162,070	1,238,080	—	1,238,080

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。